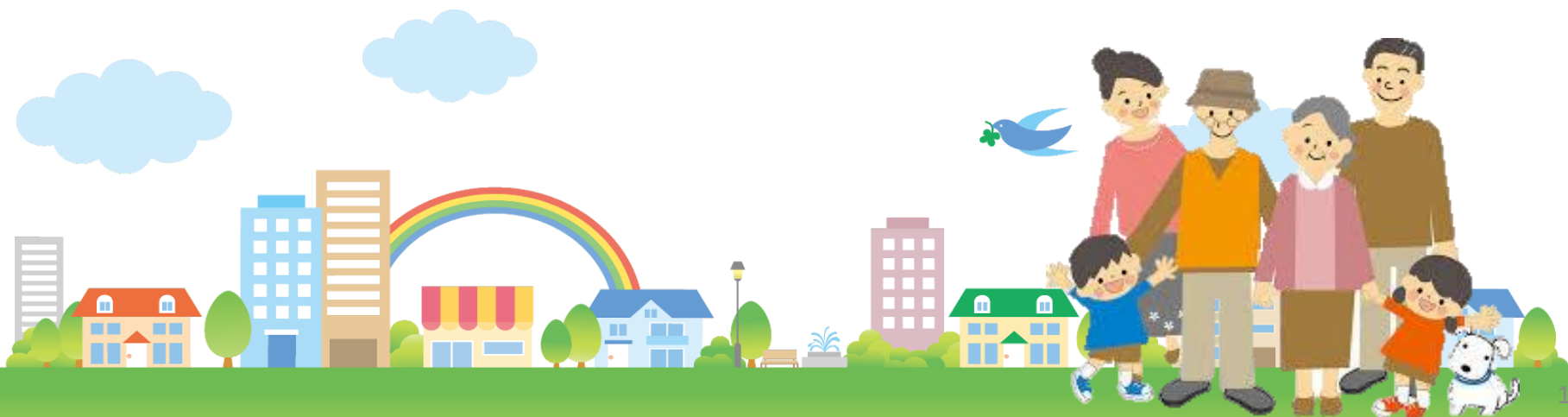


どうする？

どうなる？

# 長崎市の公共施設

第1回 緑が丘・淵地区の  
公共施設のあり方を考える市民対話



# 本日の流れ

- ・ 開会挨拶
- ・ 職員及びスタッフの紹介(5分)
- ・ 時代の変化に対応できる公共施設の見直し(20分)
- ・ 作業Ⅰ(20分)
- ・ 見直し手法の説明と緑が丘・淵地区の施設について
- ・ 作業Ⅱ(30分)
- ・ グループの発表と第1回まとめ(25分)

今回、一緒に考えたいこと

時代の変化に対応できる

公共施設の見直し



ところで、

**公共施設**

**行政サービス**

って、どんなもの？

?



# 長崎市が設置・運営している

## 公共施設には、

- 学校
- 市営住宅
- ふれあいセンター
- 公民館
- 体育館
- 老人憩の家
- 図書館
- 庁舎
- 消防署

など、いろいろな施設があります。



図書館



学校



消防署

**行政サービス**とは、  
公共施設を使って提供している、  
みなさんの暮らしに必要なサービスのことで、

- 戸籍などの手続き
- 年金
- 福祉
- 子育て支援
- ごみ処理
- 消防
- 教育
- 市営住宅やホールなどの管理・運営

などをいいます。



# 本日のお話


- ①いま起きている“変化”と状況
- ②公共施設のかしこい見直し方





ごきげんよう

よく来たのぉ！



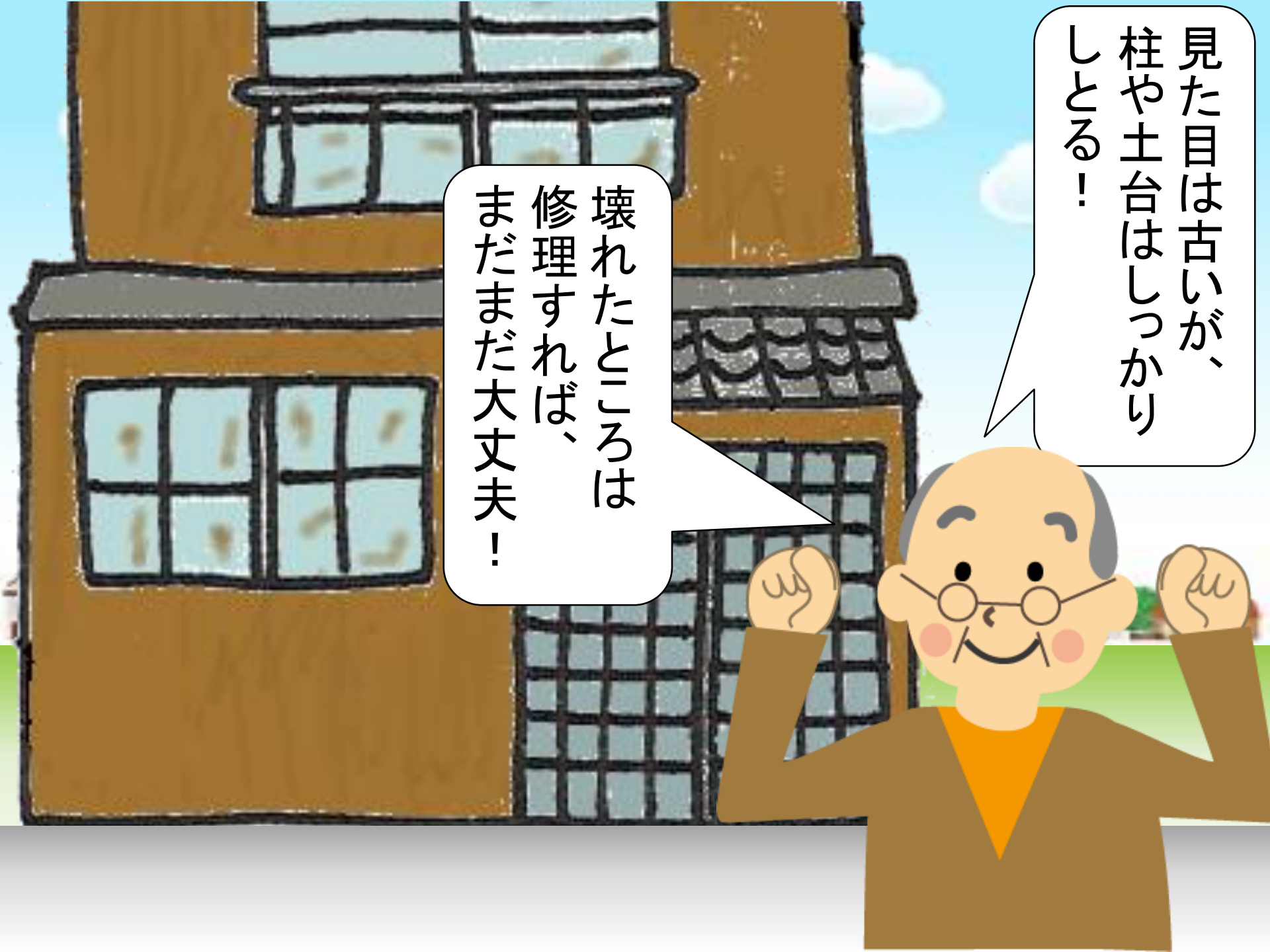
おじいちゃん！  
おばあちゃん！  
遊びに来たよ！



この家も、かなり古くなったなあ。

そうねえ。母さんたちが結婚した時に建てた家だから、もうかなりたつわねえ。

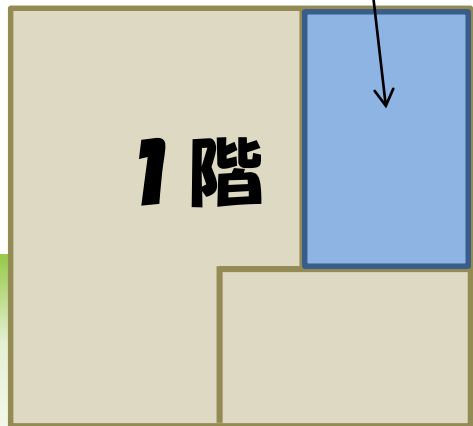
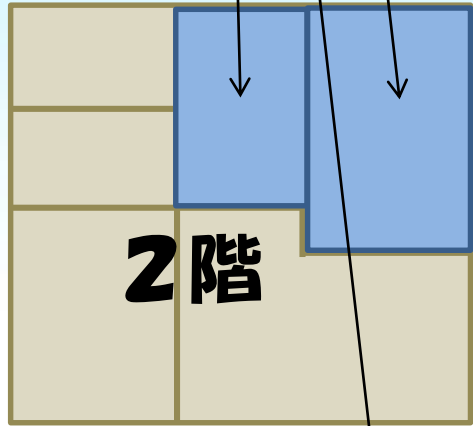




見た目は古いが、  
柱や土台はしっかり  
しとる！

壊れたところは  
修理すれば、  
まだまだ大丈夫！

使っていない  
部屋

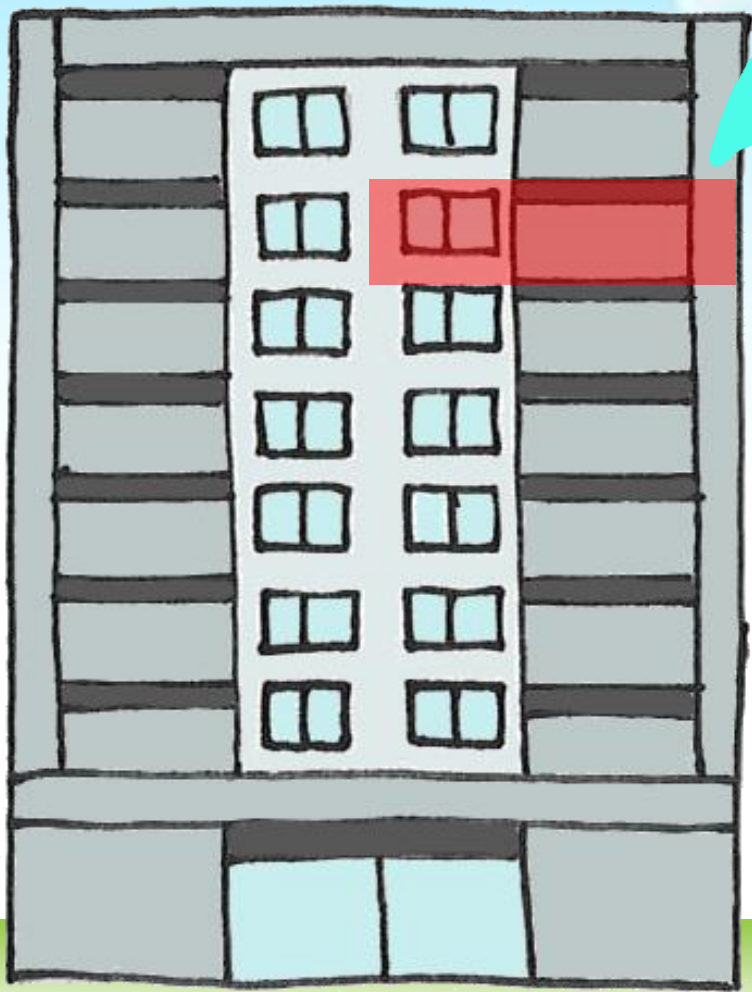


それに、子どもたちも  
独立して、今はこんなに  
たくさんさんの部屋も  
必要ないのよね。

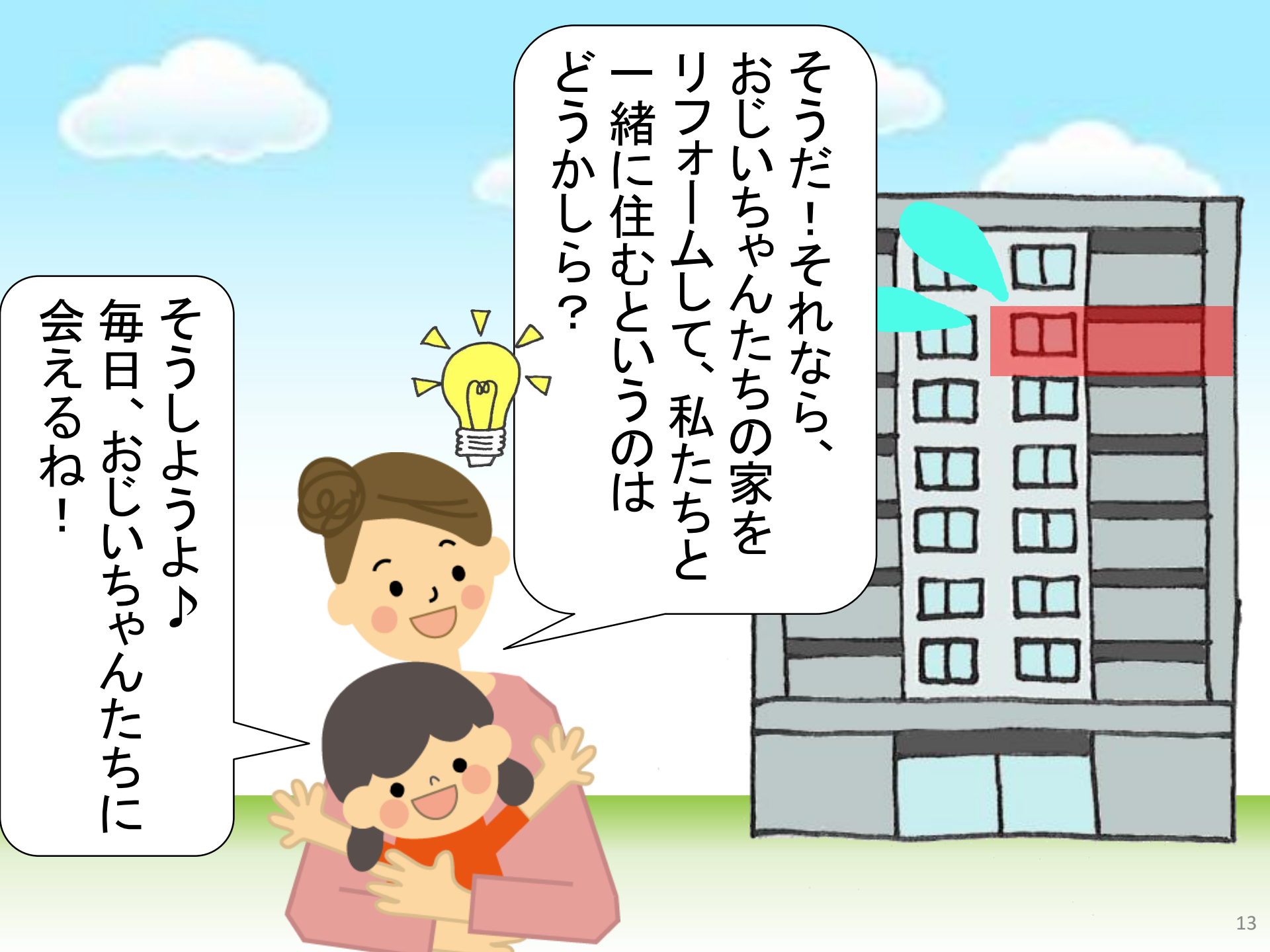
ああ言ってるけど、  
修理するにも、  
お金がかかるのよね。



実は、僕たちも中古で買った  
マンションが、だいぶ傷んできたし、  
子どもたちが成長して狭くなっ  
てきたから、そろそろ家を建てたい  
と考えているんだよ。







そうだ！それなら、  
おじいちゃんたちの家を  
リフォームして、私たちと  
一緒に住むというのは  
どうかしら？

そうしてよ！  
毎日、おじいちゃんたちに  
会えるね！

それはいいアイデア  
だね♪  
家を新しく  
建てるよりお金が  
かからないし、  
マンションを売った  
お金でリフォーム  
できるんじゃないか  
な？

そうねえ♪  
一緒に住めば、  
電気代なんかも節約できるわね♪

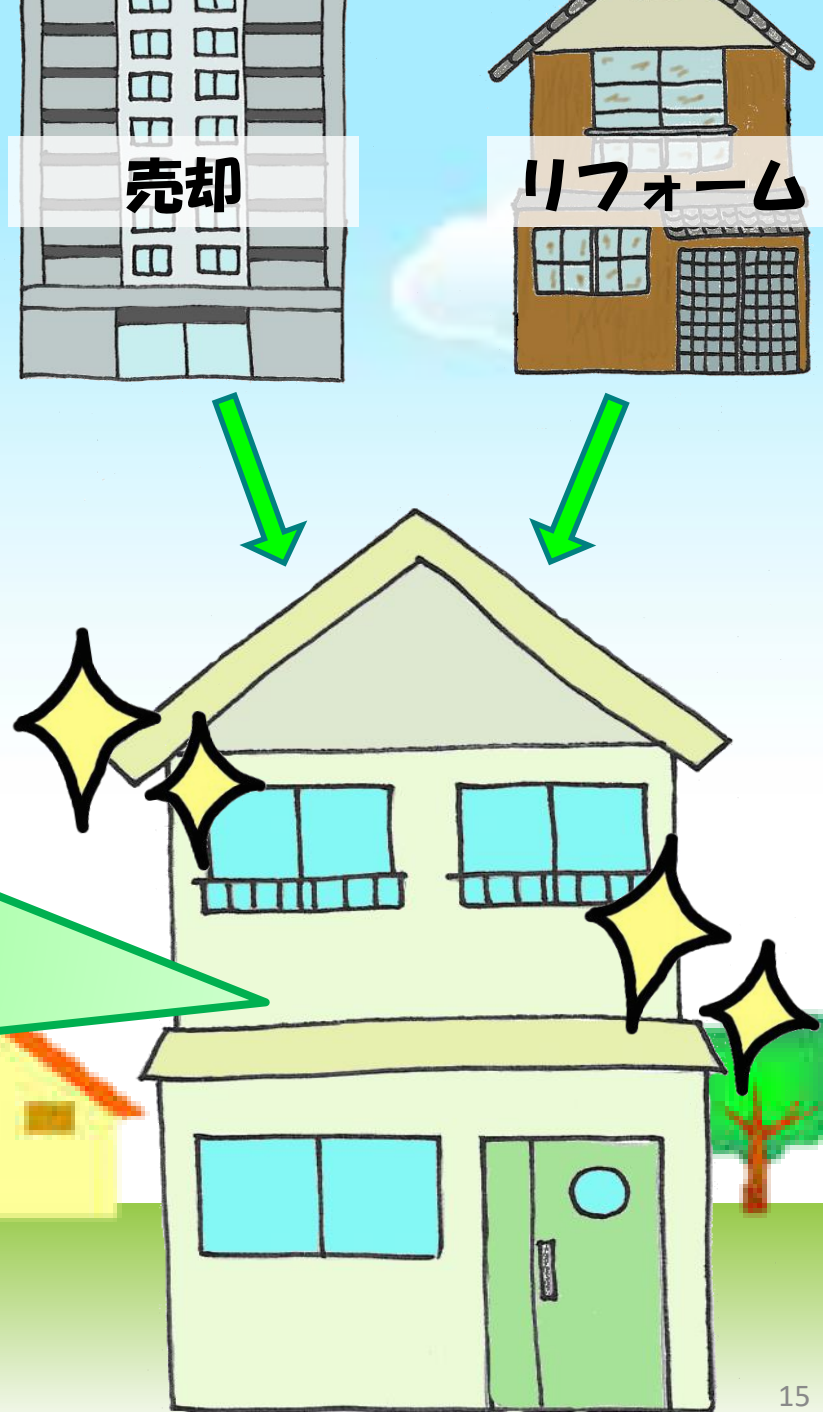


家族が増えて  
明るくなったわ♪

息子たちがいるから  
安心だ！

売却

リフォーム





これは、長崎市の**古くなった**施設や  
**使っていない部屋**がある施設などを  
**どう見直すか**を  
**身近に例えた**お話です！



# ①いま起きている “変化”と状況

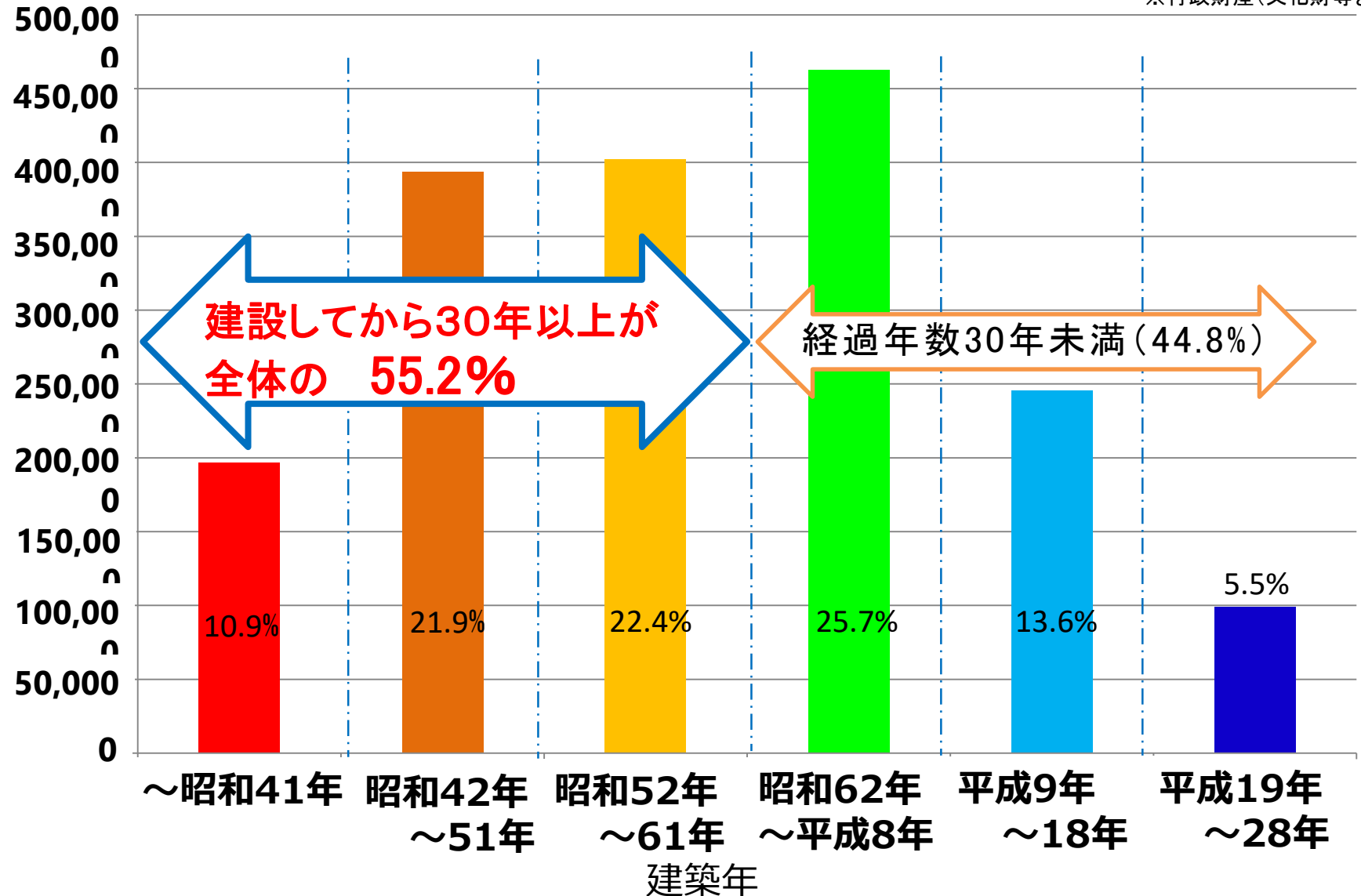
- ☑ 施設が古くなってきている
- ☑ 人口減少・少子高齢化が進んでいる
- ☑ 人口減少なのに、施設が多いまま



# ☑施設が古くなっている <年度ごとの公共施設の建設量>

床面積  $m^2$

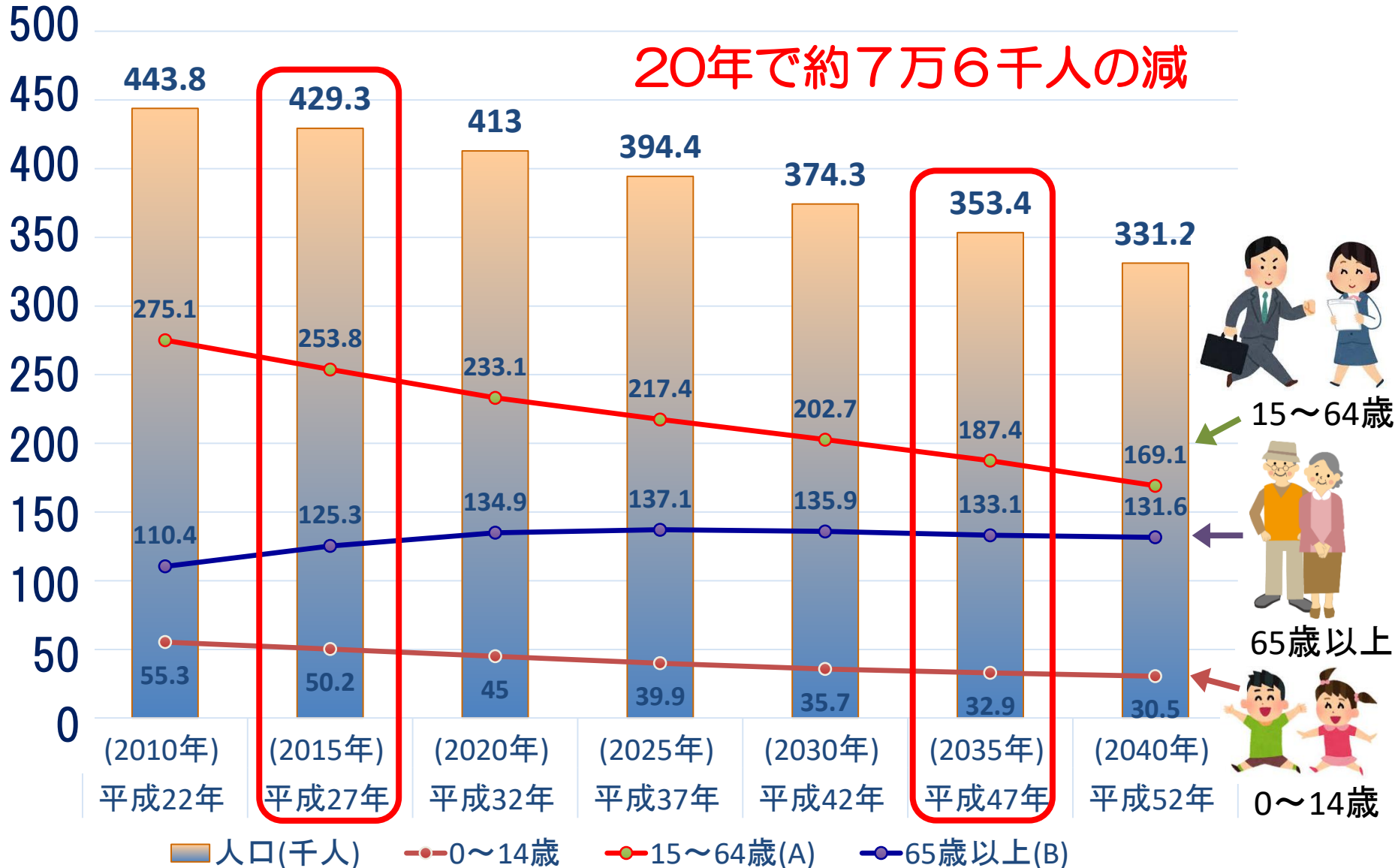
平成29.3月末現在  
※行政財産(文化財等を除く)



# ☑ 人口減少・少子高齢化が進んでいる

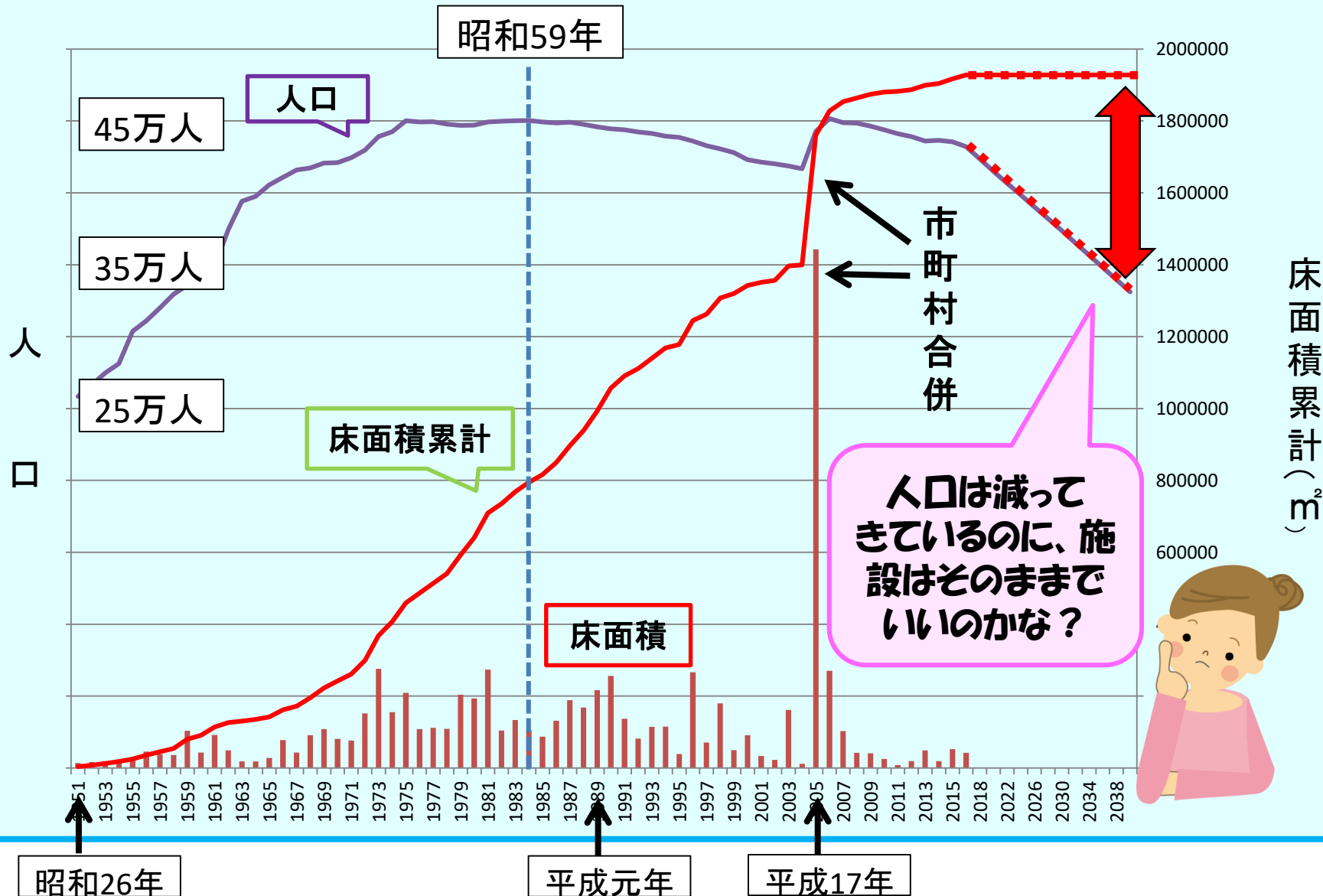
(千人)

資料：国立社会保障・人口問題研究所（H25. 3月推計）



# ☑ 人口減少なのに、施設が多いまま

## 施設の面積と人口の移り変わり



人口減少

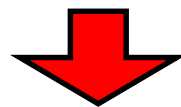


公共施設の  
利用者の減少

なのに

公共施設の  
量の増大

少子高齢化

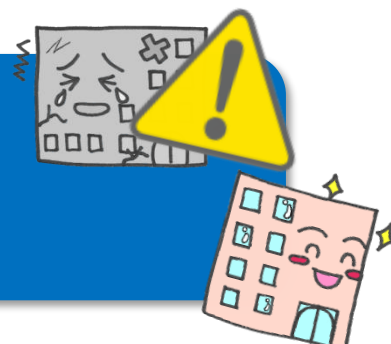
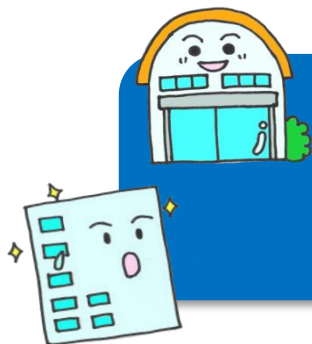


医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？





長崎市は

『人口が減っても、  
暮らしやすいまち』  
であり続ける



将来に備えるために、

公共施設の使い方を

見直しましょう！



# 例えば、こんな見直しがあります



● いっしょに使う ●



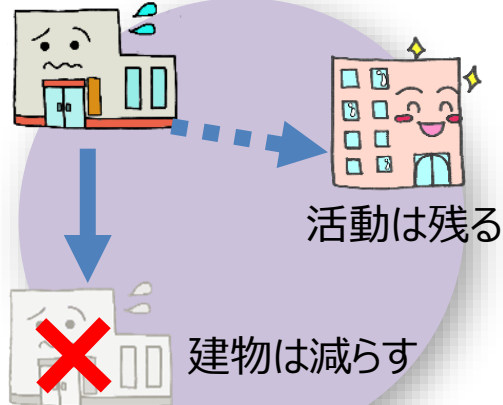
午前

午後

● 時間をやりくり ●



● 片づける ●



活動は残る

建物は減らす

● 建物が少なくなる ●



● 活動は減らない ●



● 交流が活発に ●

# 取組事例

## ～野母崎樺島地区公民館～



**旧公民館**



**新公民館(旧樺島保育所)**



旧お遊戯室が  
講堂に！

• **耐震性なし**  
(築42年)

• **バリアフリーでない**  
(3階建て)  
(エレベーターなし)

• **駐車場4台分**



• **耐震性あり**  
(築22年)

• **バリアフリー対応**  
(平屋建て)  
(スロープ設置)

• **駐車場14台分**

# 作業 I / 20分

## ① 自己紹介

- ・なぜ「対話」に参加しましたか？

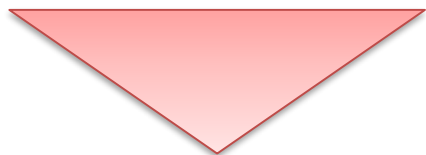
## ② 施設の「見直し」を考えます

- ・どういった状況の施設を見直すべきですか？
- ・どんな取り組み（見直し）ができるでしょう？
- …それぞれ、付せん紙に書いてみてください

ポイント！

## ②公共施設のかしこい見直し方

施設を見直すこと



**×**  
行政サービスを  
なくすこと

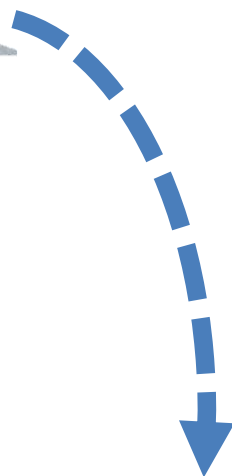


見直し



解体

建物は減らす



行政サービスは残る



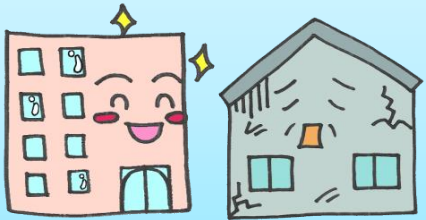
見直す時に大切に  
していることは…



# 見直す時に大切にしていること

## 次のような視点で見直しを考えます

建てられた年数  
や修理状況



地震に  
強い建物か



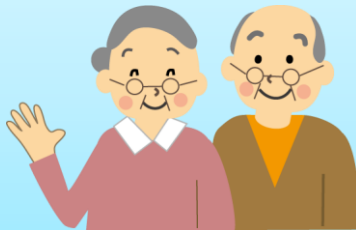
よく利用されて  
いるか



使っていない  
部屋はないか



バリアフリーに  
対応しているか



同じような  
使われかたを  
している建物が  
ないか



修理などに  
費用が掛かりす  
ぎていないか



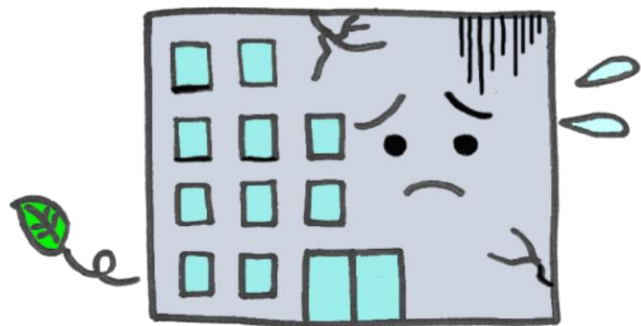
大きく

3つの手法があります



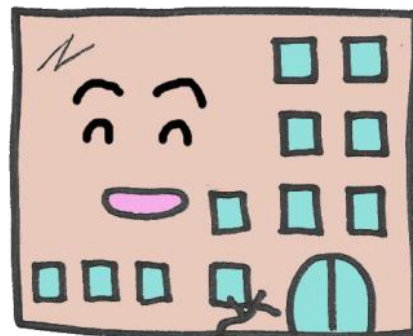
# 手法 1

# 施設を選んで、使い続ける施設はしっかり管理！



廃止予定の施設

選択



使い続ける施設

廃止予定なのに  
修理をするのは、  
もったいないものね！

安全で安心して  
利用できる施設管理  
に努めます

# 手法2

# ゆずりあいと工夫



●いっしょに使う●



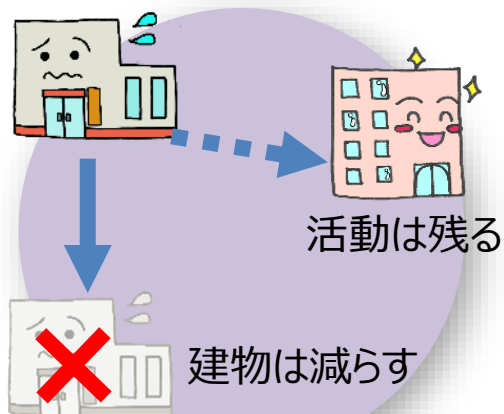
午前

午後

●時間をやりくり●



●片づける●



●建物が少なくなる●



●活動は減らない●



●交流が活発に●

# 手法3

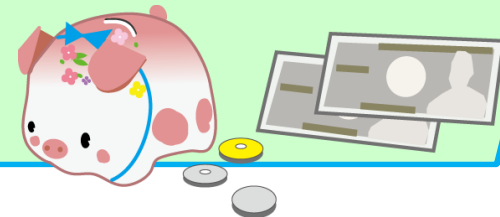
# 新たな財源を確保する

◇使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする。

使っていない土地や建物の売却・貸付



使っていない土地や建物を有効活用  
します！




◇民間企業との連携・協力を積極的に行う。

民間



行政

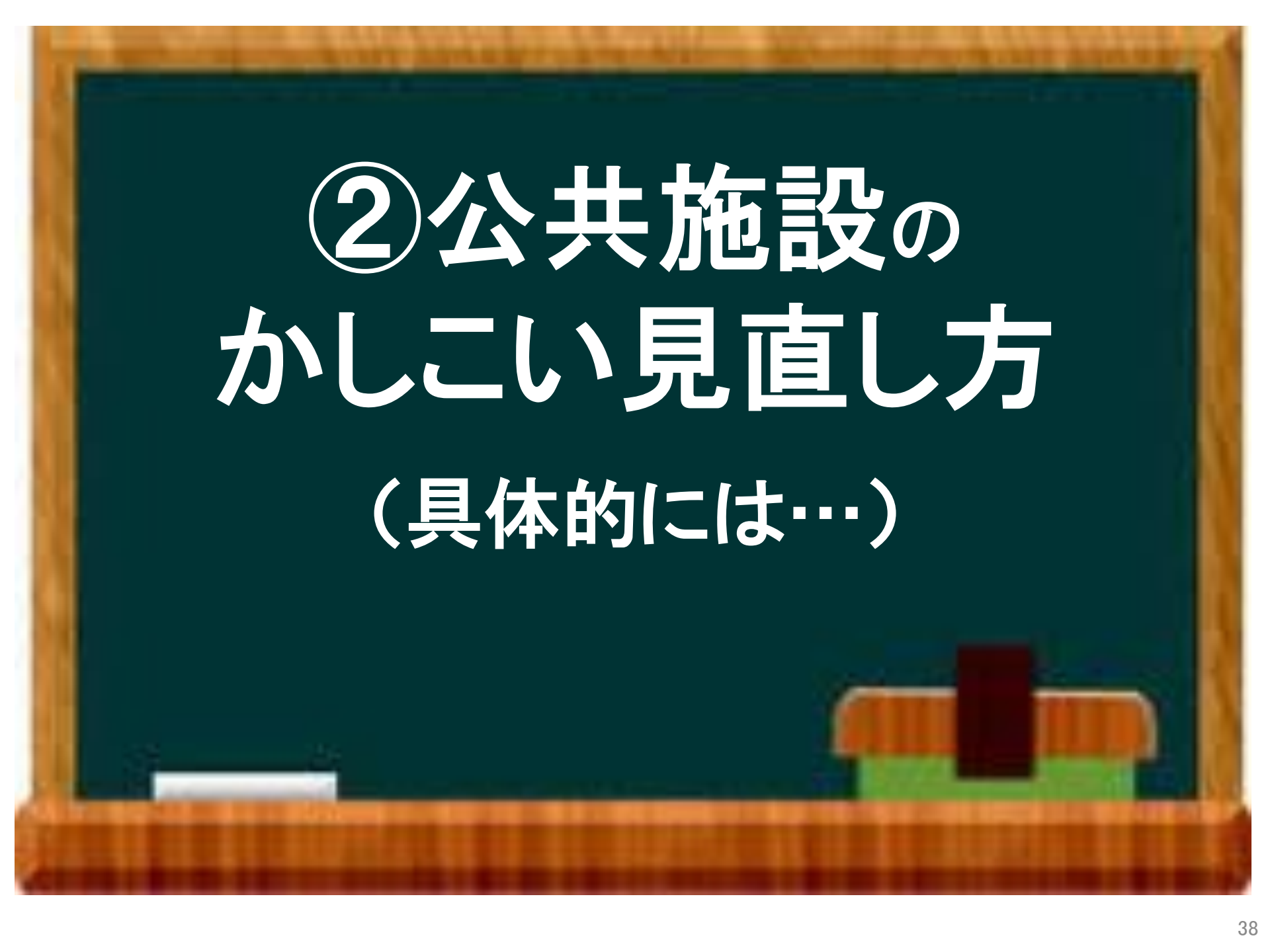
 知恵や工夫を出し合って、行政サービスの充実につなげます！

# 限られた財源を

## 上手につかいます







②公共施設の  
かしこい見直し方  
(具体的には…)

①施設を**利用する対象者**

を考えて見直します

②**地区ごと**に見直します



# ①施設を利用する対象者を考えて配置します

## 全市施設

- ・市役所本庁
- ・図書館
- ・ブリックホールなど

## 広域施設

- ・スポーツ施設  
など

## 地区施設

- ・地域センター
- ・小中学校
- ・ふれあいセンター  
など



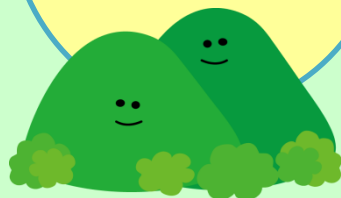
施設を見直すことで、少し不便になる事もあるでしょうが、  
地区に必要なサービスを維持するため、一緒に考えましょう！

## ②地区ごとに見直します

まちの  
成り立ち



地形



交通網



今後の  
人口動態

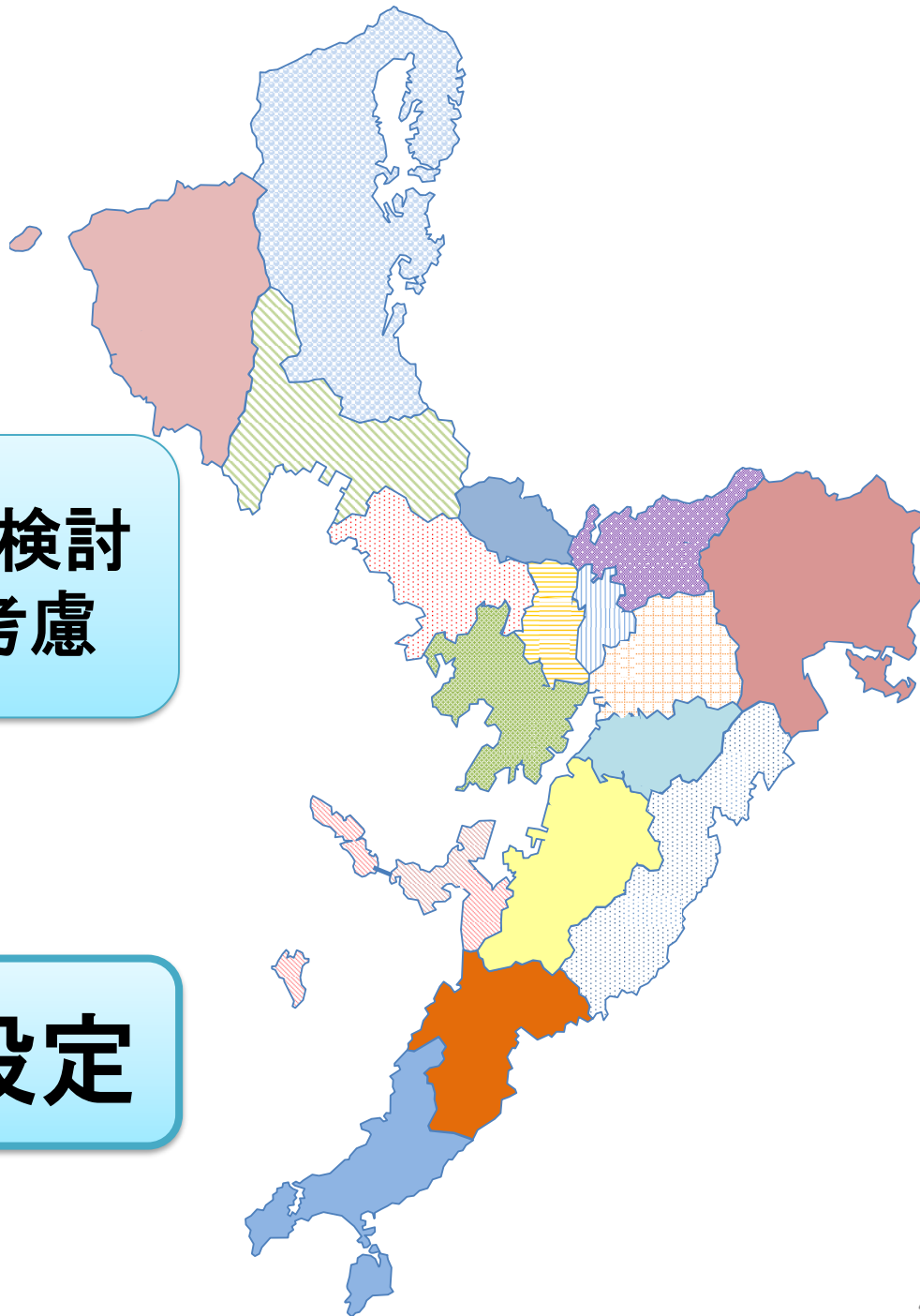


地域にはそれぞれ特徴があるため、  
地域の実情、くらしの視点で公共施設の  
見直しを行います

# ◆地区の分け方

- ◇地形・交通網から範囲を検討
- ◇人口規模の状況などを考慮

市内を17地区に設定



地域の**住民のみなさん**と

**一緒**に考えることで、

**より良い見直し**につながります。



地区に住んで  
いるからこそ  
知っている情報

暮らしが楽しく  
なるような  
アイデア

地区の  
将来像



対話で出たご意見などを参考にさせていただき、  
地区別計画を市が責任を持ってとりまとめていきます。



# ◆対話の進めかた

第1回  
1月28日(日)

施設見直しの  
必要性

施設の現状を  
知る

第2回  
2月17日(土)

施設の地域に  
おける役割を  
検証し、かしこい  
使い方を考える

第3回  
3月17日(土)

周りの施設との  
つながりや解決  
方法を考える

第4回  
4月開催予定

対話のまとめ

地区に住んでいるからこそ  
知っている課題や実態  
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

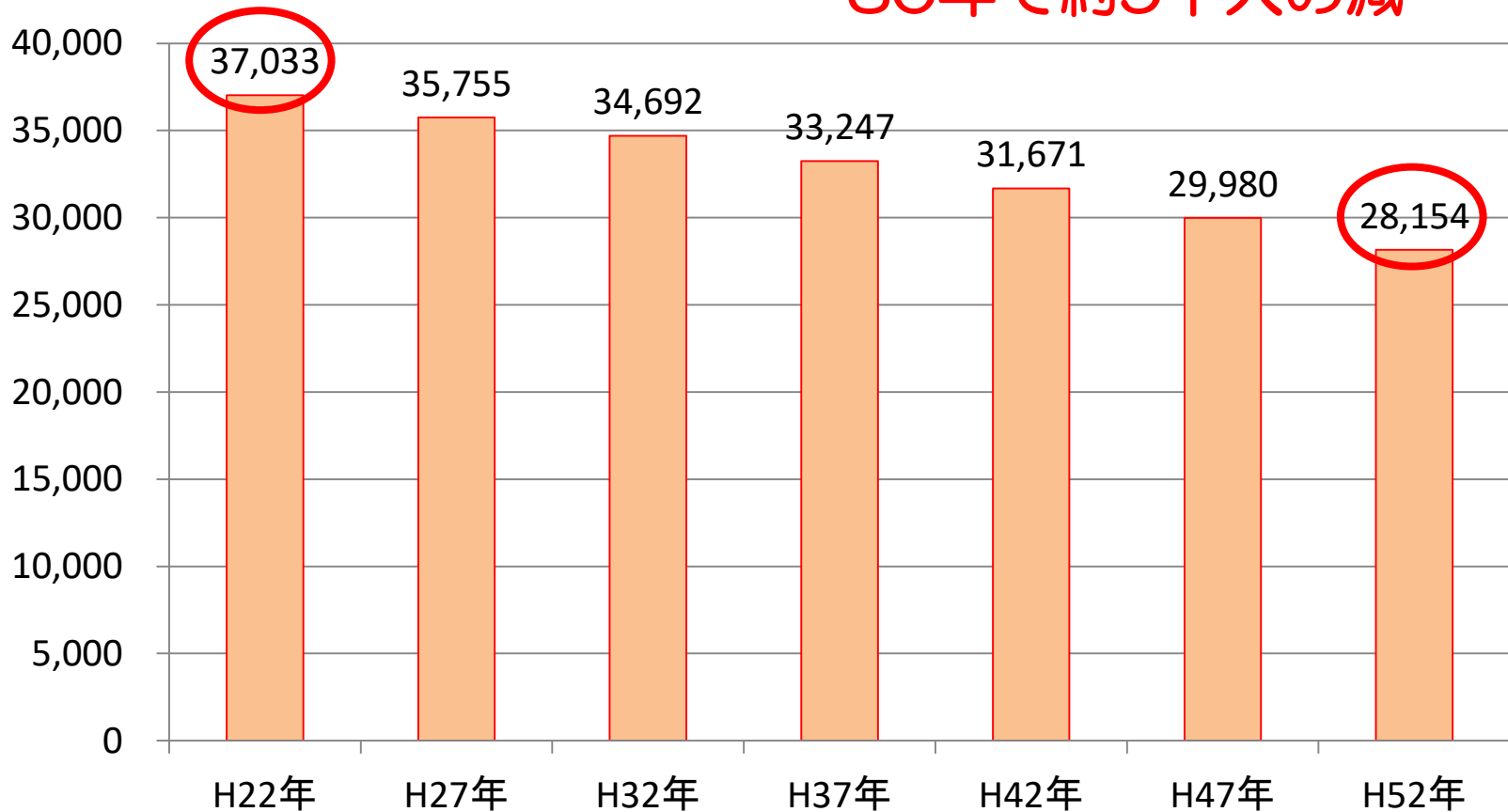
# 緑が丘・淵地区の昔と今

# 1 緑が丘・淵地区の将来推計人口

人口は30年で4分の3に

## 【 緑が丘・淵地区 】

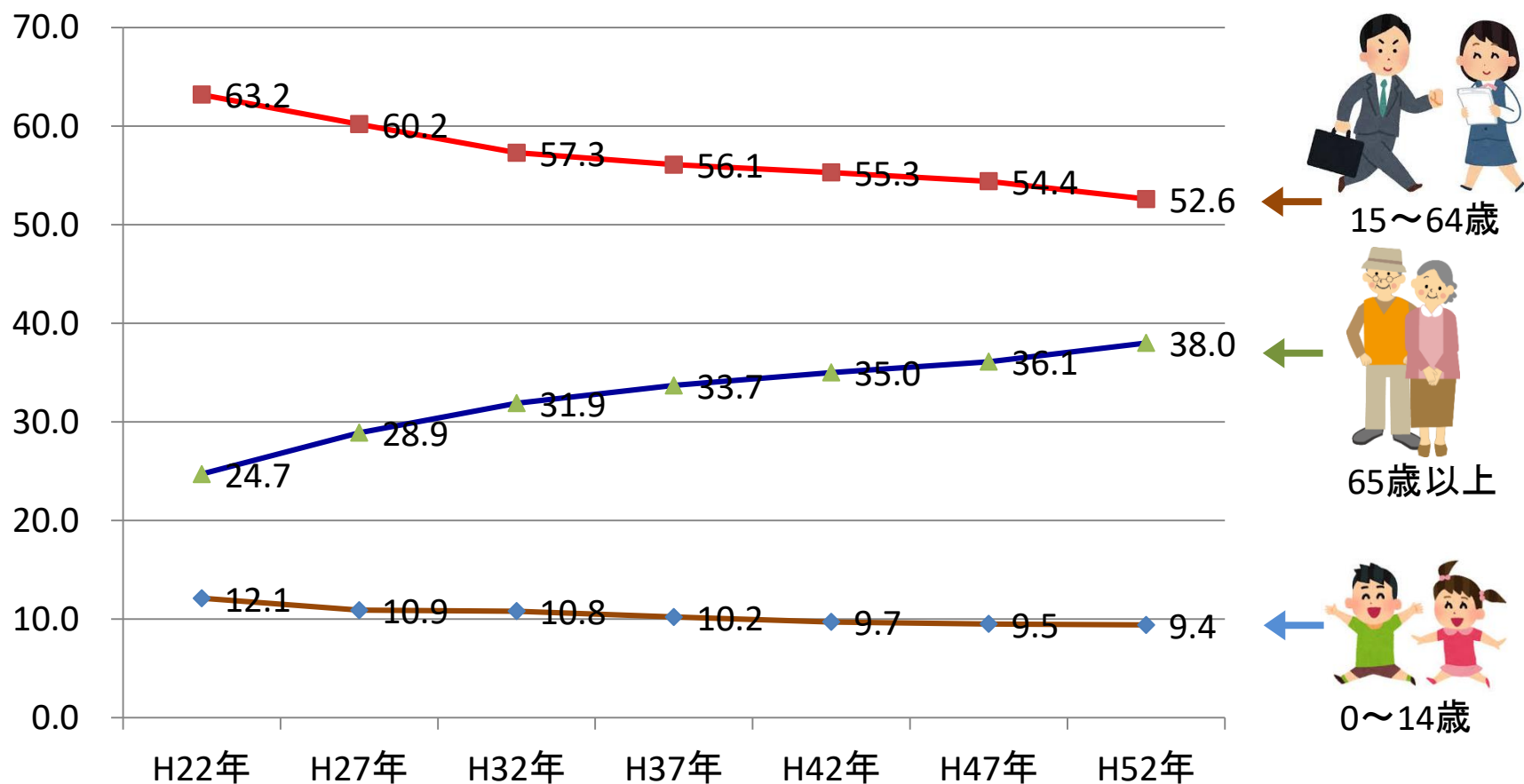
30年で約9千人の減



# 1 緑が丘・淵地区の将来推計人口

高齢者の割合は増え、働く世代の割合は減少

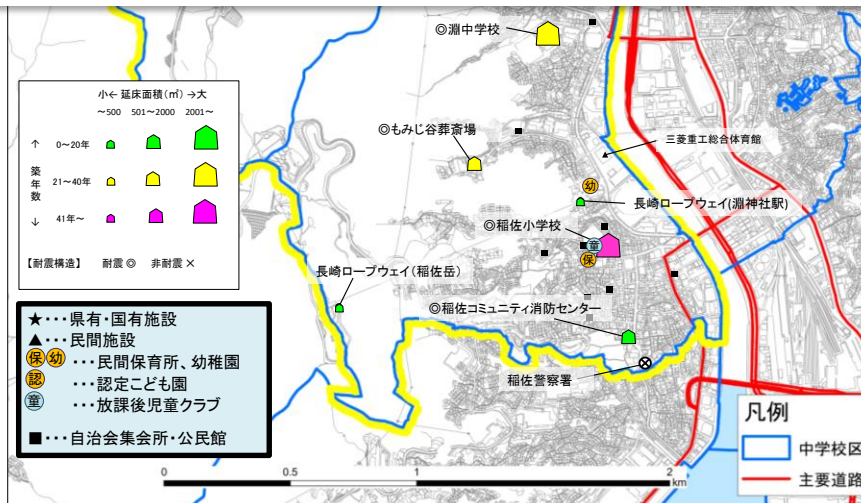
## 【 緑が丘・淵地区 】



## 2 緑が丘・淵地区の公共施設



テーブルの模造紙をご覧ください。



# 3 緑が丘・淵地区の公共施設

## 緑が丘・淵地区の公共施設の情報

この記号は、その施設の機能を表しています。

### 1 全市施設

H29.3.31現在

施設のなまえ	近隣のバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スロップ	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
							日数	稼働率	利用者数					
市民総合プール	約3分	9,885㎡	1996.9	20	-	○	311	-	186,531	-	○	○	×	
市民アーチェリー場	約0分	90㎡	1973.10	43	-	-	295	-	4,385	-	○	×	○	
もみじ谷葬斎場	約6分	1,318㎡	1978.11	38	-	○	364	-	6,602	-	○	○	-	
科学館	約1分	13,299㎡	1996.11	20	-	○	303	78.9%	179,180	-	○	○	○	
ロープウェイ	約2分	1,125㎡	1959	58	-	○	347	-	195,218	-	○	○	-	
松山町駐車場	-	9,301㎡	1997.10	19	-	○	365	-	138,985	-	×	○	○	

### 2 地区施設

施設のなまえ	近隣のバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スロップ	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
							日数	稼働率	利用者数					
淵地区ふれあいセンター	約3分	449㎡	1996.1	21	○	○	308	62.4%	22,767	-	○	○	○	
緑が丘地区ふれあいセンター	約1分	556㎡	1989.3	28	○	○	308	41.3%	25,634	-	○	○	○	
老人憩の家つつし荘	約2分	231㎡	1981.3	36	○	○	291	77.2%	10,533	-	×	×	×	
緑が丘地区子育て支援センター「ピクニック」	約1分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
いなさっくらぶ(放課後児童クラブ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
城山学童クラブ(放課後児童クラブ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西町どんぐりズ(放課後児童クラブ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
若草学童クラブ(放課後児童クラブ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

市営住宅	住まいる
富士見住宅	住まいる
城栄住宅	住まいる
青山住宅	住まいる
清水住宅	住まいる
狩股住宅	住まいる
西町住宅	住まいる
西町第2住宅	住まいる
中河内住宅	住まいる

### 3 その他の施設

施設のなまえ	近隣のバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スロップ	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
							日数	稼働率	利用者数					
稲佐小学校	約3分	5,818㎡	1975.3	41	○	○	243	-	262	0	×	×	×	
城山小学校	約2分	5,908㎡	1966.3	51	○	○	243	-	493	0	×	×	×	
西城山小学校	約1分	6,389㎡	1957.3	60	○	○	243	-	361	7	○	×	×	
西町小学校	約1分	7,263㎡	1956.3	61	○	○	243	-	325	8	○	○	×	
淵中学校	約5分	7,127㎡	1984.3	33	○	○	243	-	435	6	○	×	×	
緑が丘中学校	約15分	8,738㎡	1961.3	56	○	○	243	-	294	20	○	×	○	

※1・・・市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均より低い場合は○、高い場合は×  
(利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡あたりの費用で比較)

### 施設の使い方を見直すときに大切にしている7つの視点

1	2	3	4	5	6	7	合計
建物が古い30年以上	地震に弱い	あまり利用されていない	使っていない部屋がある	バリアフリーではない	地区内に同じような使い方をしている施設がある	費用がたかさんかかっている	
✓		✓		✓		✓	1
✓							3
✓							1
							0
✓							1
				✓			1

1	2	3	4	5	6	7	合計
建物が古い30年以上	地震に弱い	あまり利用されていない	使っていない部屋がある	バリアフリーではない	地区内に同じような使い方をしている施設がある	費用がたかさんかかっている	
					✓		1
					✓		1
✓				✓	✓		3
				✓			0
							1
						✓	3
						✓	2
						✓	1

お手元の資料をご覧ください。

#### 【7つの視点の説明】

- 1・・・建てられてからの年数が30年以上のものに✓
- 2・・・耐震性がない建物には✓
- 3・・・市全体で同じ種類の建物と比較したときに平均より稼働率または入居率が低い場合には✓  
稼働率または入居率がない施設は、1日あたりの利用者数が平均より低い場合には✓
- 4・・・使われていない部屋などがある場合は✓
- 5・・・入口にスロップ、2階以上の建物にエレベーター、多目的トイレのいずれか1つでもなければ✓
- 6・・・地区内に同じような使い方をしている施設がある場合は✓
- 7・・・市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均よりかかっている場合は✓  
利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡あたりの費用が平均よりかかっている場合は✓

# 緑が丘・淵地区の公共施設



# 市民総合フェール



築年数

築20年

利用者数

186,531人／年間

# 市民アーチェリー場



築年数

築43年

利用者数

4,385人／年間

# もみじ谷葬斎場



築年数

築38年

利用者数

6,602人／年間

# 科学館



築年数

築20年

利用者数

179,180人／年間

# ロープウェイ



築年数

築58年

利用者数

195,218人／年間





# 松山町駐車場



築年数

築19年

利用者数

138,985人／年間

# コミュニティ施設



淵地区ふれあいセンター 緑が丘地区ふれあいセンター



老人憩の家 つつじ荘

# 淵地区ふれあいセンター



築年数

築21年

利用者数

22,767人／年間



# 緑が丘地区ふれあいセンター



築年数

築28年

利用者数

25,634人／年間

# 老人憩の家 つつじ荘



築年数

築36年

利用者数

10,533人／年間

# 緑が丘地区子育て支援センター「ピクニック」



築年数

築53年

利用者数

7,385人／年間

# いなさっこクラブ



築年数

築42年

利用者数

1,092人／年間

# 城山学童クラブ



築年数

築51年

利用者数

456人／年間

# 西町どんぐりいす



築年数

築48年

利用者数

612人／年間



# 若草学童クラブ



築年数

築53年

利用者数

792人／年間

# 市営住宅

築年数／入居戸数



**富士見住宅**

46年／22戸



**城栄住宅**

39年／30戸



**青山住宅**

40年／91戸



**清水住宅**

34年／59戸



**狩股住宅**

35年／120戸



**西町住宅**

34年／21戸



**西町第2住宅**

33年／71戸



**中河内住宅**

29年／97戸



# 学校



稲佐小学校

築年数 築41年 児童数 262人



城山小学校

築年数 築51年 児童数 494人



淵中学校

築年数 築33年

生徒数 435人<sub>68</sub>

# 学校



西城山小学校

築年数 築60年 児童数 361人



西町小学校

築年数 築61年 児童数 325人



緑が丘中学校

築年数 築56年

生徒数 294人<sub>69</sub>

# 稲佐地域コミュニティ消防センター



築年数

築14年

# 西城山交流センター



築年数

築53年



最後に  
お伝えしたいこと

施設を造ってきた、  
施設を使ってきた、  
わたしたちが“今”  
見直すことが大切



みなさん一緒に  
暮らしやすい  
まちづくりを進めて  
いきましょう

